

記載例

令和 8 年度

種類別明細書 (増減資産・全資産用)

所有者コード		個人番号又は法人番号	※	所有者氏名										1 枚のうち		
				株式会社 双葉税務工業										1 枚目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年	年	月					率	コード			
01	1		アスファルト舗装工事	1	H	29	4	2,400,000	10						1・2 3・4	
02	2		発電機	1	H	30	5	500,000	6						1・2 3・4	
03	2		投光器	1	H	30	5	500,000	6						1・2 3・4	
04	6		パソコン	1	R	1	6	400,000	4						1・2 3・4	
05	6		エアコン	1	R	1	6	200,000	6						1・2 3・4	R7.6 除却
06	6		応接セット	1	H	30	5	400,000	8						1・2 3・4	
07	2		バックホー	1	R	7	8	1,300,000	6						1・2 3・4	R7.8 A市より
08															1・2 3・4	
09															1・2 3・4	
10															1・2 3・4	
11															1・2 3・4	
12															1・2 3・4	
13															1・2 3・4	
14															1・2 3・4	
15															1・2 3・4	
16															1・2 3・4	
17															1・2 3・4	
18															1・2 3・4	
				小計	6			5,500,000								

耐用年数
「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基づいて記入してください。

増加事由
資産を取得した事由について、該当する番号を○で囲んでください。
1：新品取得
2：中古品取得
3：移動による受け入れ
4：その他

摘要
該当資産について記載すべき事項があれば記入してください。
例：申告漏れによる過年度分の申告資産である旨
例：減少資産の事由（移動、除却等）

資産の種類
資産の種類に記載する数字は下記のとおりです。
1：構築物
2：機械及び装置
3：船舶
4：航空機
5：車両及び運搬具
6：工具・器具及び備品

資産の名称等
資産の名称及び型式等を記入してください。

取得年月
資産を取得した年月を記入してください。年号欄は、令和が「R」、平成が「H」、昭和が「S」としてください。

取得価額
資産を取得するために出した額又は支出すべき金額（附帯費を含む。）を記入してください。
※圧縮記帳は固定資産税上認められていませんので、圧縮額を含めた取得価額を記入してください。